

明けましておめでとうございます



町長 坂梨 豊昭

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様には、ご家族お揃いで、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、昨年中は、町政運営に対してご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、地方分権の推進や三位一体の改革、そして市町村合併など自治体を取り巻く環境は、かつて経験したことのない激変の年でありました。また、経済面では、いざなぎ景気を超える長期の経済回復が続いているものの、都市と地方の格差が広がる厳しい状況が続いています。

一方、9月には、文仁親王同妃殿下に悠仁（ひさひと）様がご誕生になり、40数年ぶりの皇室での男子誕生を、全国民が祝賀したことは記憶に新しいところです。

また、3月1日には、旧菊水町と旧三加和町の2町が合併して「和水町」が誕生するという歴史的記念の年となりました。

合併後は、和水町の一体性の確立が喫緊の課題であることから、菊水地区と三加和地区で各々を実施されてい



議長 福山 精一

謹んで新春のお喜びを申し上げます。皆様には、健康で希望に満ちた新春をお迎えられましたことをお喜び申し上げます。

昨年は、3月1日に合併し、和水町となり、4月に町長・町議の選挙が行われ、16名の議員が誕生いたしました。議員一同、議会活動に専念し、各種の福祉対策はもとより地域の振興をはじめ、町勢の発展に微力を尽くすことができましたことを、心から感謝し、厚く御礼申し上げます。

平成19年を迎え、国の内外ともに大きな変革の時期に遭遇しております。地方行政におきましても過密、過疎、人口構成の高齢化、更に情報化の進行など、未だかつて

た行事も、統一が可能なものから、一緒に取り組んでまいりました。例えば、古墳祭、和水町ベタンク大会、金栗四三翁マラソン大会などのイベントを中心に、町民の交流促進と融和を図ってきたところであります。対外的には、玉名郡民体育祭において、和水町として初参加し、陸上競技の部では総合優勝いたしました。その他、格技や球技の部でも優秀な成績をおさめ、町民の団結力を広くアピールすることができました。

更に、本年1月4日には、新成人者を祝う成人式を統一して実施することとしています。

今後、できるだけ早い段階で行事等の統一を図り、一体感の醸成を図ってまいりたいと思っております。

和水町にとって、2007年は環境、産業、福祉、防災や教育など様々な行政分野の方向付けをする年であると考えています。

そのため、行政各分野の専門委員会や会合への参加、行政懇談会など本年も「対話によるまちづくり」を実践し、町政に対する多くの町民の皆様のご意見を拝聴しながら、和水町が進むべき具体的方向性を決めて行きたいと思っております。

また、専門的な分野からの意見を参考とするため、熊本県立大学と包括協定を締結しました。大学の学術や教員、学生の協力を得ながら、今後の和水町のまちづくりを連携して取り組んでいきたいと考えております。

和水町が融和と協働により、安心・安全な住みよい町となりますよう、どうぞ、町民の皆様方のお力添えをお願いすると共に、町民の皆様のご多幸をお祈りして、新年のご挨拶といたします。

経験したことのない新たな事態に日々直面し、まさに行政の真価が問われている時だと思っております。

我が和水町におきましても、若年層の流出から過疎と人口の高齢化が続く、町勢発展を図るうえで大きな問題となっていますが、これを打開するためには、魅力ある活力ある地域社会を実現することが、何より肝要であると思います。

和水町の行政を担う議会は、それぞれの議員において、常に和水町議会議員としての自覚と誇りを持って、町民の皆様へのニーズを先取りし、創意工夫しながら、先導的役割を果たしていくという心意気で、町勢発展の期待に応えていきたいと存じます。

「二年の計は元日にあり」と申します。議員一同、新年を契機に、心を新たに、町民の皆様が和水町を誇りとし、和水町に住む喜びを実感できるような魅力あるまちづくりの実現を目指して、皆様の負託とご期待に沿うべく、懸命に努力してまいります。

町民の皆様方より一層のご指導、ご鞭撻を心からお願い申し上げます。本年が皆様にとりまして、実り多い年でありまようお祈りし、新年のご挨拶といたします。

まちの話 題

TOWN TOPICS

①「あしたのまち・くらしづくり活動賞」を受賞

あしたのまち・くらしづくり全国フォーラム



▲十町の元気いっぱいなちびっこたち

12月4日（月）、東京の青少年センターで行われた平成18年度「あしたのまち・くらしづくり活動賞」の「子育て支援活動」部門で「ちびっこ夢ランド」（代表 池上直美さん）が主催者賞に選ばれ、表彰されました。

この賞は、(財)あしたの日本を創る協会ほか3団体が主催し、地域活動団体を顕彰するもので、地域の課題を自らの手で解決し、住みよい地域社会を創造しようとする活動している団体などに対しておられるものです。

今年度新設された子育て支援活動部門には、第1次審査を通過した全国21団体が最終審査に残り、ちびっこ夢ランドは、その中で3位に相当する「主催者賞」を受賞しました。

「ちびっこ夢ランド」は、三加和地区の里づくり運動で設立された十町地区ムラづくり協議会「夢ランド十町」の下部組織で、学校週5日制に対応して、地域に子どもの居場所をつくろうと発足したものです。

毎月第3土曜日の午前中に地域の子ども達を受け入れ、古民家を拠点に本の読み聞かせや、自然体験、お菓子作りなどを行い、地域住民みんなで地域の子どもたちを育てていこうと取り組んだことが評価されたものです。今回の「ちびっこ夢ランド」の表彰は、和水町で実践されている「里づくり運動」も併せて評価されたものとして、大変喜ばしいことです。

②大きな功績を残されて

秋の叙勲

和水町から3名の方が秋の叙勲を受賞されました。



▲上原松柏さん（和仁）は、永年学校教育に携わり、児童生徒の健全教育・学力向上・体力の向上・教育環境の整備にご尽力され、小・中学校の校長や三加和町教育長などを努められ『瑞宝双光章』を受賞されました。



▲高木瑞穂さん（上大田黒）は、校長として高等学校での教育に力を注がれたばかりでなく、熊本県教育庁において教育行政の発展に、また、三加和町の公民館長・教育長を歴任され、児童生徒の健全育成・社会教育等に貢献され「瑞宝小綬章」を受賞されました。



▲池田史人さん（中和仁）は、優良大径材生産を主体とした林業経営に力を注がれ、地域林家の模範として精力的に活動し、各林家の経営指導・助言にご尽力されるなど、その他様々な功績を残され『旭日双光章』を受賞されました。

